

活動写真(第1期)

写真は、本申請「自動車整備士養成事業(第2期)」の前期にあたる第1期の写真



第1期開講式(2011年3月28日)



【研修場所であるディリ技術専門学校(DIT)】
正面玄関に設置した看板は、第1期事業予算で
作成



第1期メンバー: DIT教官4名、日本から派遣した3名の
教官、教務1名と30名の研修生

第1期研修生は、公務員、自動車整備工場勤務者の他、市民研修生15名を試験で選抜。倍率は4倍となり、合格者は、男性13名、女性2名。

研修風景(第1期)



シャーシの実習



エンジンの卸下(取り外し)

整備服の
胸ポケット
には、日本
からの援助
を示すOD
Aマーク



動力伝達装置の実習



エンジン分解の実習: 手前は優秀な成績を納めた
女子研修生、修了後はDIT機械科に進み、日本
留学を希望している。



トランスミッションの分解

整備服の背中には、当団体の
JDRACロゴ(整備服は第1期事業
予算で用意)

研修風景(第1期)

1. エンジン実習

第1期担当教官:
ナタリーノ教官
ボスコ教官

- ・エンジン脱着
- ・タイミングベルト点検
- ・タペット隙間点検
- ・サーモスタット分解点検



2. クラッチ実習

第1期担当教官:
リデオ教官
ジョスティアーノ教官

- ・クラッチミッション脱着
- ・クラッチ分解点検
- ・リーフスプリング分解点検



3. リヤアクスル実習

第1期担当教官:
前田教官／小山教官

- ・リヤアクスル脱着
- ・ドア脱着
- ・圧縮圧力計器測定
- ・エアコンガス計器測定



4. 工場管理実習

第1期担当教官:
小滝教官

- ・工具紛失防止ボード作成
- ・工具整理棚作成
- ・工具収納箱作成
- ・作業踏み台作成



定期試験・修了試験(第1期)

■7カ月の第1期研修期間中、7回の定期試験を実施。最初は定期試験を嫌がっていた研修生も、試験は優柔を確認するのではなく、研修の理解度確認や忘れた項目の再学習の目的であることを、毎回試験前に説明した結果、多くの研修生が定期試験を待ち望むようになり、復習になるので続けてほしいとの要望が聞かれる程になった。

■第1期修了時に筆記試験と実技能力判定を行い、平均90点であり、全員が合格した。研修修了生は、市民研修生15名、公務員研修生5名、工場からの研修生10名であり、第1期の定着率は、90%であった。修了式では、修了証書を付与した。



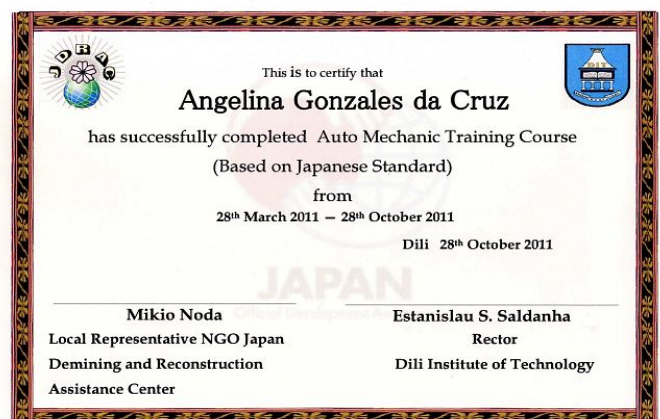
研修生の真剣な修了試験風景



DIT教官による実技試験解答説明会



実技能力判定試験風景定期試験：
ラジエーターキャップテスト測(上)、
OHVバルブクリアランス調整(下)



第1期修了証書：
修了証書は、就職に威力があります。

修了式(第1期)

2011年10月28日、日本大使館、JICA、整備工場勤務者オーナー、就職先候補大手自動車販売会社役員等を招待し、厳かに第1期修了式が行われた。



DIT校長の挨拶



日本大使館・参事官から修了証書授与

「地球VOCE」取材受け(第1期)

2011年7月29日に外務省提供のTV番組「地球VOCE」に「夢と希望！将来を担うこれからの世代へ」をテーマに放映。女優・藤原紀香さんの取材を受けた。



番組では第1期野田現地代表の夢にまで言及!!



番組でクローズアップされた女子研修生

ワークショップ開催(第1期)

東ティモールの若者の間で急激に増加しているオートバイの取り扱い・点検等の安全管理を実技・指導した。第1期では、3回のワークショップを開催し、各日80名を集客し、盛況裏に終了した。第2期では、自動車について実施予定。



自分のオートバイを会場に持ち寄り、エンジンオイルやタイヤ圧を調べて欲しいと依頼が殺到！



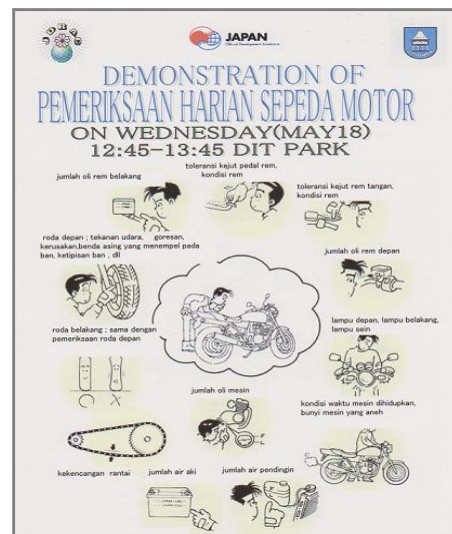
チラシを手に熱心に聞き入る参加者



会場に日常点検の説明バナーを掲示



シスターもワークショップに参加！



第1期ワークショップで配布したチラシ(点検マニュアル)